

令和2年度 当初予算版

高砂市 財政の現状と将来の見通し



高砂市
マスコットキャラクター
ぼっくりん

高砂市の予算

会計＝お財布



一般会計
352億円

- 福祉や教育、道路整備など、市政運営の中心となる会計

特別会計
315億円

- 国民健康保険や介護保険など、一般会計と区別する必要がある特定事業の会計

企業会計
149億円

- 上下水道や病院など、民間企業のように利用料金の収入で運営している会計

一般会計の予算内訳

歳入

区分	予算額
市税	164億3,300万円(46.6%)
地方交付税など	43億2,039万円(12.3%)
使用料及び手数料 分担金及び負担金 など	18億1,644万円(5.1%)
国庫支出金	48億9,453万円(13.9%)
県支出金	22億4,765万円(6.4%)
繰入金	2億8,672万円(0.8%)
市債	52億2,950万円(14.9%)
合計	352億2,823万円(100%)



歳出

区分	予算額
人件費	64億1,609万円(18.2%)
扶助費	84億4,853万円(24.0%)
公債費	29億5,281万円(8.4%)
物件費・補助費 など	101億1,005万円(28.7%)
維持補修費	2億1万円(0.5%)
繰出金	40億1,296万円(11.4%)
普通建設事業費 など	27億7,442万円(7.9%)
積立金など	3億1,336万円(0.9%)
合計	352億2,823万円(100%)

市の予算を家計に例えた場合（収入）

- 高砂市の予算を年間480万円（1か月当たり40万円）の家計に置き換えてみると・・・

給与		24万円
うち給料	（市税）	19万円
うち諸手当	（地方交付税など）	5万円
パート収入	（使用料及び手数料など）	2万円
親からの仕送り	（国庫支出金・県支出金）	8万円
貯金の引き出し	（繰入金）	—
借金	（市債）	6万円
うち住宅ローン	（公共事業などに係る市債）	4万円
うちカードローン	（臨時財政対策債）	2万円
合計		40万円

給与やパート収入って意外と少ないりん。



貯金残高
年間480万円の家計に対し

43万円

（基金のうち財政調整基金分）

市の予算を家計に例えた場合（支出）

食費	（人件費）	7万円
医療費	（扶助費）	10万円
借金の返済	（公債費）	3万円
光熱費などの雑費	（物件費・補助費など）	11万円
車や家具の修理代	（維持補修費）	0.3万円
子どもたちへの仕送り	（繰出金）	5万円
家の増改築	（普通建設事業費など）	3万円
貯金	（積立金など）	0.7万円
合計		40万円

借金残高
年間480万円の家計に対し

567万円

（前年度末の一般会計市債残高）

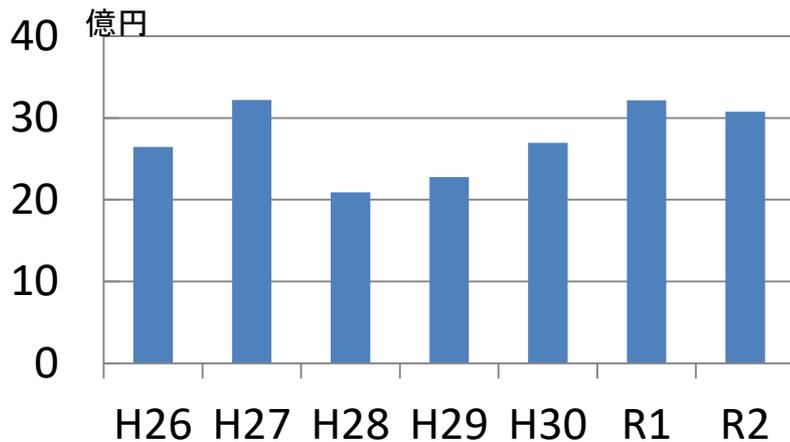
生活していくには、
親からの仕送りや
借金の活用も
仕方ないんだりん



- 家計に例えた場合、生活に必要なお金や借金の返済などに充てるお金の割合が高いため、自由に使えるお金はあまりない

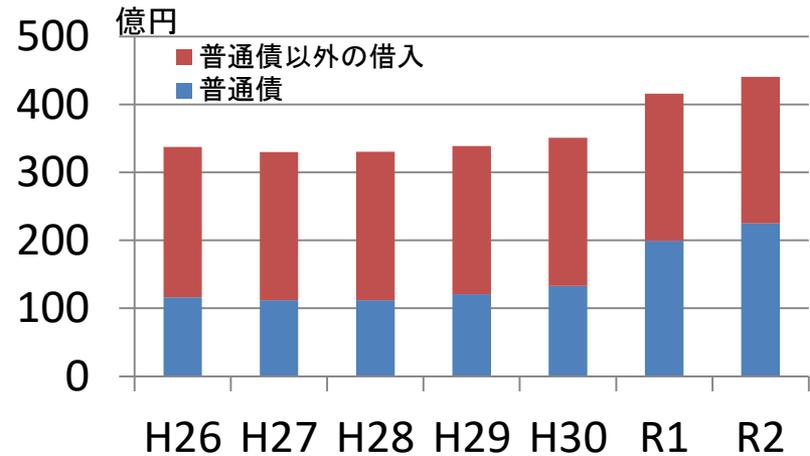
市の貯金と借金の推移

貯金の残高(財政調整基金)



※各グラフとも、H26～H30年度は決算額、R1・R2年度は決算見込額

借金の残高(一般会計の市債)



普通債とは？
道路や建物の建設に使われた借金

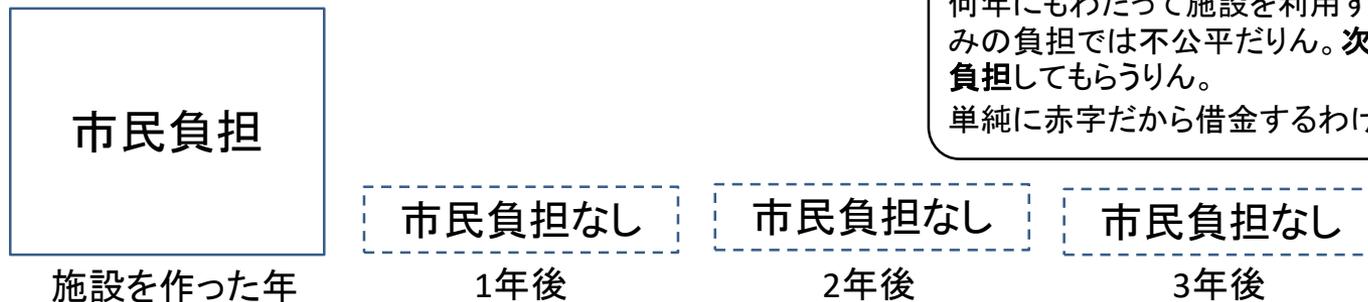
市の貯金と借金の残高の推移だりん。
貯金はほとんど変わらないりん。でも、借金は増えてきているりん。
効率的で無駄のないお金の使い方を考えるりん！
借金を活用しなければ残高は減るけど、どうだりん？



なぜ借金が必要なのか

- 学校や道路などの大きな施設を建設するときは、国などから補助金などが貰えますが、建設費の大部分は施設を作る時の市民が負担しなければいけません。

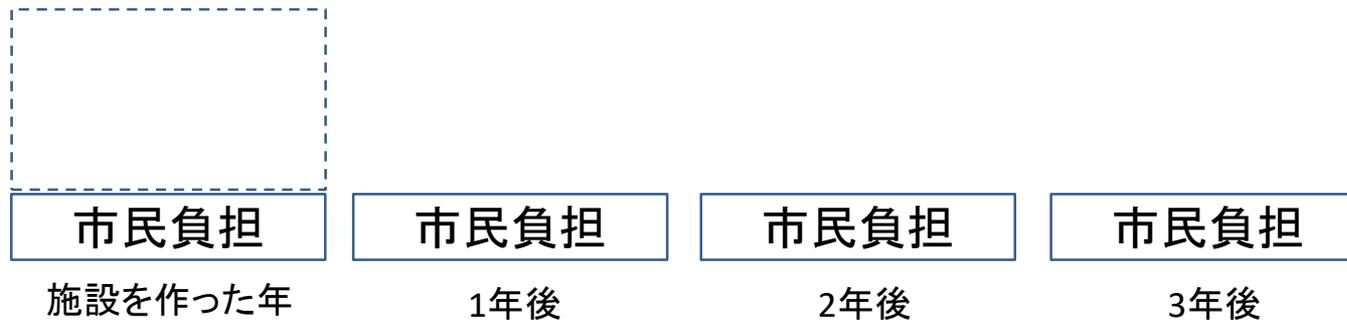
○借金しないで建設すると、その年の市民負担が大きくなる



何年にもわたって施設を利用するのに建設時の市民のみの負担では不公平だりん。次世代の市民にも公平に負担してもらいりん。
単純に赤字だから借金するわけではないんだりん。



○借金すると、将来にわたって負担を分割





財政の健康診断

財政健全化法による4指標(H30決算)

	内容	高砂市 30年度決算	早期健全化基準 (イエローカード)	財政再生基準 (レッドカード)
実質赤字比率	一般会計を中心とした赤字の割合	赤字なし	12.47%	20%
連結実質赤字比率	市のすべての会計の赤字の割合	赤字なし	17.47%	30%
実質公債費比率	借金などの年間返済額の割合	7.9%	25%	35%
将来負担比率	将来、支払いが見込まれる負債の割合	71.2%	350%	

実質公債費比率

7.9%

- この数値が高いほど、市の財政運営が余裕がなくなっている。
- 兵庫県内29市中 率が低い方から14番目
- 兵庫県内29市の平均 8.7%

ニコッ



将来負担比率

71.2%

- この数値が高いほど、将来的に市の財政を圧迫する可能性が高くなる。
- 兵庫県内29市中 率が低い方から17番目
- 兵庫県内29市の平均 57.3%

ニコッ





将来の見通し①

人の高齢化

- 少子高齢化社会において、福祉・医療にかかる費用の増加

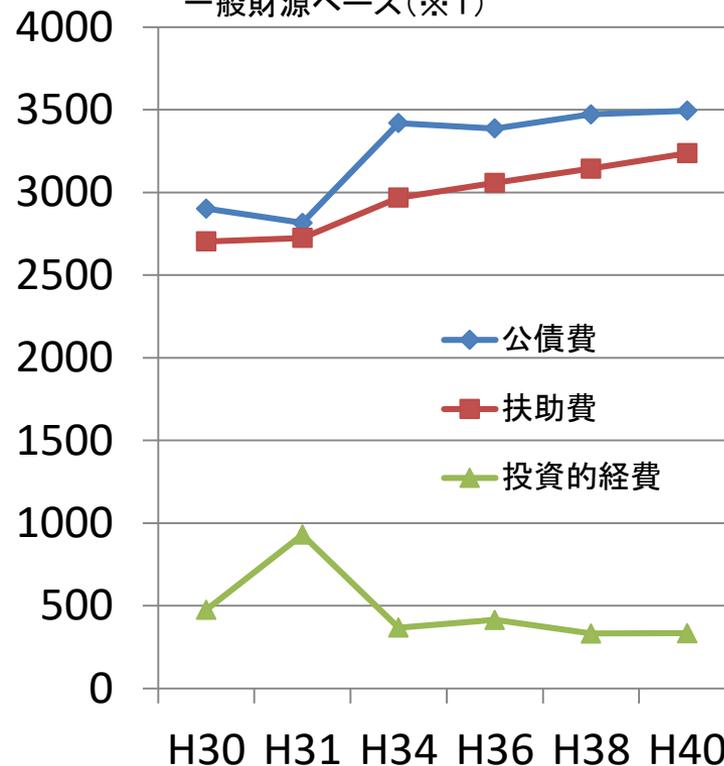
施設の高齢化

- 本庁舎をはじめとする施設や道路・橋りょう・上下水道など戦後高度成長時代に整備したものが耐用年数を迎え、更新の時期が集中

新たな行政需要への対応

- 浸水対策や子育て支援などの社会保障経費の増加など、引き続き財政負担の増加が見込まれるものに対応

H31年3月作成中期財政計画及び長期財政見通しより(単位:百万円)
一般財源ベース(※1)



(※1)ここでいう一般財源とは、事業費から特定財源を差し引いた数値を指します。



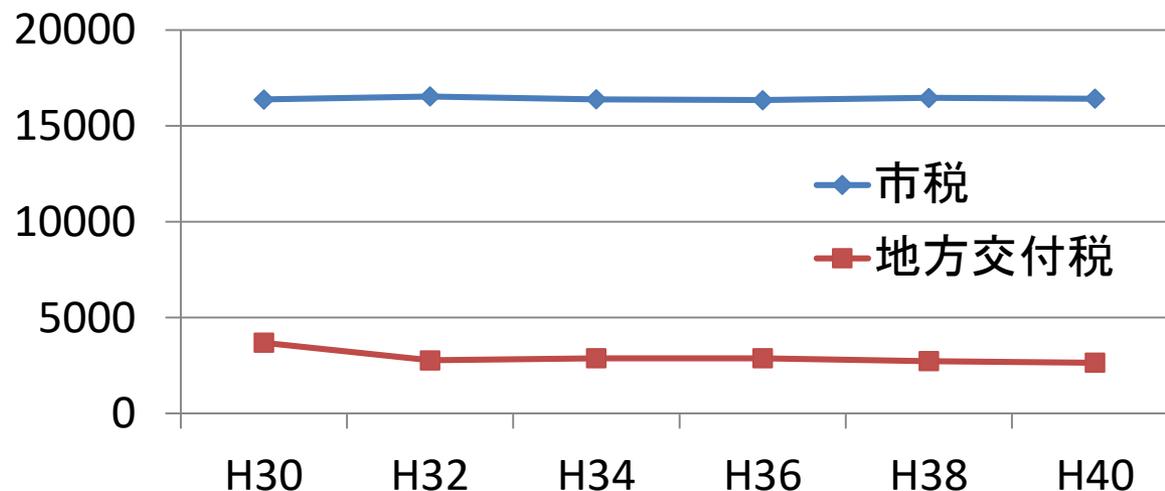
将来の見通し②

収入の伸びが見込めない

- 市税の収入の大幅な増加は、少子化に伴い働く世代が増加しないので期待できない
- 地方交付税についても期待薄

支出は増えるのに収入は増えないんだりん

H31年3月作成中期財政計画及び長期財政見通しより(単位:百万円)



将来の財政に向けて

高砂市では、将来にわたって健全で持続可能な財政運営を行うために、さまざまな取り組みを進めています。

収入の確保

- 受益者負担の適正化
- 税・保険料等の徴収率の向上
- 滞納整理の取組強化

総人件費の抑制

- 適正な定員管理の推進
- 適材適所の人事配置

事務事業の見直し

- 内部事務の見直しを徹底
- 施設のあり方を検討し適正な活用
- 負担金補助・給付及び扶助の見直し



知恵と工夫



高砂市 財政の現状と将来の見通し

発行 令和2年4月

編集 財務部 財務室 財政課

電話 079-443-9010